

都市再生整備計画 事後評価シート
藤島元町地区(第2期)

平成28年3月

山形県鶴岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県		市町村名	鶴岡市		地区名	藤島元町地区(第2期)			面積	122ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	281	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		公園(歴史公園整備事業)、地域生活基盤施設(都市計画道路藤島駅笹花線照明灯設置)								
			提案事業		地域創造支援事業(藤島城址堀の水質浄化事業)、まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業		地域生活基盤施設(都市計画道路藤島駅笹花線照明灯設置)	別事業によりLED防犯灯が設置されたため		数値目標への影響なし					
			提案事業		地域創造支援事業(藤島城址堀の水質浄化事業)	持続的な水質改善には堀に流入する水量を増加させる等、多面的な検討や検証が必要であり、相当の期間を要することが想定されたため		数値目標への影響なし					
	新たに追加した事業		基幹事業										
			提案事業		地域創造支援事業(歴史公園案内施設整備事業)	公園内のふじや施設の案内を行うことにより公園利用者の利便性の向上と魅力の増進が図られるため		指標1に関連するが目標値は据え置く					
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	歴史公園施設(旧東田川郡役所・議事堂)の年間利用者数	人/年	31,633	H21	34,800	H27	29,077	25,895	×	あり	歴史公園が開園間もないことから、旧東田川郡役所等の施設と公園の相互利用を促す事業の展開が図られなかったことが要因の一つと考えられる。また、例年は記念館を会場として行っているイベントの一部を平成27年度は収容人数の関係から会場を変更したことも評価値が減少した要因となっている。	平成30年度末
										なし ●			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1	市道村東山ノ前線(通称藤ロード)自動車交通量	台/6時間	1,350	H23	/	/	1,321	1,491	/	公園のふじはまだ生育過程にあり開花していないものの、ふじを中心とした藤島歴史公園の新設をPRしたことにより、交通量が増加したものと考えられる。	-	
	その他の数値指標2	ふじの花まつり誘客人数	人	4,220	H23	/	/	4,244	6,522	/	ふじの花まつりの誘客数増加は、藤島歴史公園の整備による、ふじに親しむという機運の高まりが要因の一つと考えられる。	-	
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	ふじの花にこだわった藤島歴史公園が整備されふじの見所や観光の拠点となるとともに、魅力ある都市環境づくりの基盤が整備されたことで、まちづくりの住民意識が高まった。公共施設のふじの管理を行う市民ボランティア組織が設立されるなど市民参加によるまちづくりが進められつつある。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	歴史公園施設利用者数及び市道村東山ノ前線(通称藤ロード)自動車交通量の調査を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 公園と近隣施設の相互利用を促す方策検討のため引き続き歴史公園施設利用者の調査を行う。				
	住民参加プロセス	藤島歴史公園整備の基本計画策定時に住民参加によるワークショップを実施し、基本計画を策定することにより住民ニーズに沿った整備を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 官民協働による公園の維持管理体制の構築を図り、ボランティア団体への支援協力を行う。				
持続的なまちづくり体制の構築	・藤島中心街まちづくり協議会による沿道美化運動を行が行われている。 ・住民参加の公園管理を行うためボランティア組織の設立を目的に関係団体に働きかけを行っている。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、藤島中心街まちづくり協議会と今後のまちづくりについて検討していく。 関係団体等に対し、花植栽等まちづくり活動への支援協力を行う。					

様式2-2 地区の概要

藤島元町地区(山形県鶴岡市(旧藤島町)) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年次	数値	年次	数値	年次
歴史・文化施設を活用した観光拠点づくりによる来訪者の増加を図り、中心街の活性化を進めます。	歴史公園施設利用者数	単位:人/年	31,633	H21	34,800	H27	25,895	H27
	市道村東山ノ前(通称:藤ロード)交通量	単位:台/6時間	1,350	H23			1,491	H27
	ふじの花まつり誘客人数	単位:人	4,220	H23			6,522	H27

■基幹事業
公園
・歴史公園整備



藤島元町地区 都市再生整備計画区域 事業一覧



□提案事業
地域創造支援事業
・歴史公園案内施設整備事業



凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	都市再生整備区域

まちの課題の変化

- ・新たな観光拠点である藤島歴史公園を活用した、まちの活性化や藤島元町地区の商店街・飲食店の賑わいの創出につなげる方策の展開が、必要となった。
- ・集客力のある公園を維持するためには、きめ細やかな維持管理が必要であることから、住民参加による藤島歴史公園の維持管理体制の構築が課題となってきた。
- ・東田川文化記念館と藤島歴史公園の相互利用の充実や効果の向上を目指し、東田川文化記念館の事業展開と併せ、地域の魅力発信拠点の一つとして有効な活用が求められている。
- ・地域の魅力増進のため、ふじの花の開花時期以外の四季を通じた活性化を図ることが課題となった。
- ・藤島城址堀について、住民参加による堀のかいぼり作業が行われるなど、堀の生き物調査や堀底の状況把握は行われたが、水質の改善には至っていない。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

- ・都市計画道路藤島駅笹花線の整備と連携した藤島中心街の活性化を図るため、藤島中心街まちづくり協議会等のまちづくり団体を中心とした地元住民によるまちづくり体制の構築への支援・協力をを行う。また、自然と調和した魅力ある生活圏を創りあげていくために充実した社会基盤の整備を進めていく。
- ・地域の花であるふじの花をテーマとしたまちづくりと持続的な官民協働による公園の維持管理体制の構築のため、ボランティア団体や維持管理団体への支援・協力をを行う。
- ・藤島歴史公園と地域の歴史・文化施設の一体となった活用を図るため、東田川文化記念館のイベント企画や新たな展示の設置等、相互の有効活用を促す事業の展開を図る。
- ・藤島歴史公園の年間を通じた魅力増進のため、アヤメを植栽する等、季節ごとに楽しめる花木の植栽を進めていくとともに、イルミネーション等の設置による冬期間の魅力増進を図る。
- ・藤島城址堀の持続的な水質改善のため、流入する水量を増加させる等多面的な対策の検討及び検証を地域の関係機関等と共同で行うなど、取り組み体制の構築を図る。